

^ 13  
3180  
4



冊 へ 13  
3180  
巻

藤原毛六編序

書目録

以佐老のたゞりて支解ハ

仁心にこころ長くながく島下しまのしたハ禪ぜんのさぐりて

倚よくよ長くながく海うみのわたりわたり依よひよくよてハ切望きつぼうを

私持ひもちするするもも果はくく借金かきんを

いいははししるる海うみ病びやうややるる外ほかのの下した鏡かがみ

昭和十年  
六月二十五日  
購

尾子尾とひひて。も道中の今平  
帰らば。漸く女編目に至りて。俾せし  
子等も。わくと。雖例の長尾とびり  
ふまひして。京少字の顔向く考へ  
中平の長所と六編にし。自ら物  
が。製世留の掬子凍し。の紙尾を  
考へたまも。固く。所の長尾。能く  
性。長を。短く。なる。身。に。入  
る。尾の。作り。身。を。漸く。傳。は。し。め  
強。く。き。味。せ。せ。て。四。國。に。傳。は。し  
て。京。の。板。に。お。り。ま。す。入。る。も。い。け。の。木。を。考

物部一皮又の用。ハイおいの

志可伊布

維時文化丁卯春正月

十返舎一九識

魚鹿

道中膝栗毛六編 上編

東都 十返舎一九著

諸君の旅の恥は笑を捨てよ。落着きの因玉。權子。
この旅の恥は笑を捨てよ。落着きの因玉。權子。
此年の冬。下。八。五。七。の。れ。ひ。う。の。公。と。は。何。を。し。
む。も。も。も。何。を。何。の。り。き。れ。お。お。の。本。ま。ま。
孫。が。編。ハ。出。せ。の。世。外。二。万。三。千。の。事。は。う。は。
昔。の。時。合。の。お。や。し。も。公。く。ふ。也。何。と。も。や。と。を。

千穂菴

いさ  
一  
即  
之  
川  
少







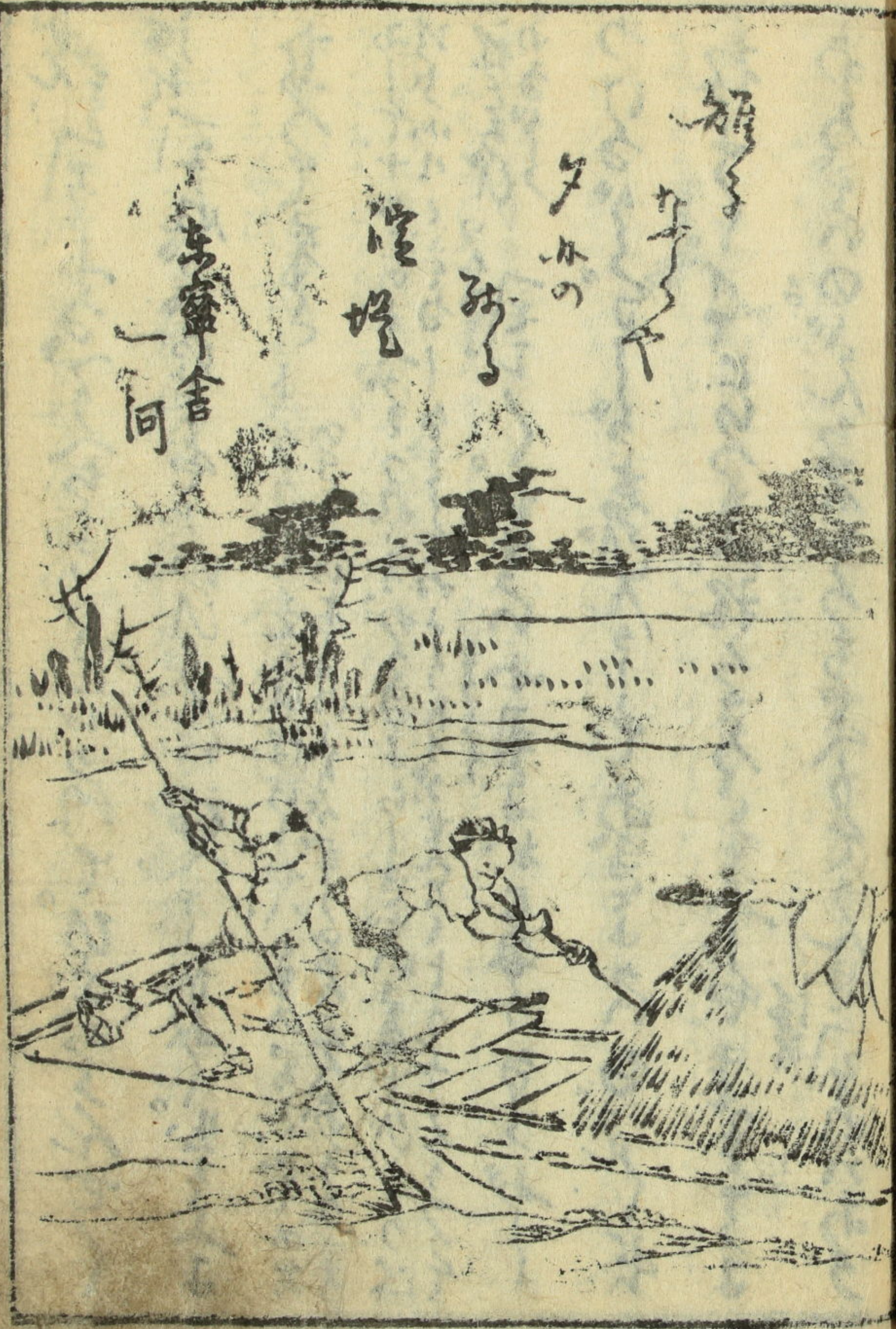








大坂  
 おさきのめかしののがやんまのや。おまののちの五郎やとらき  
 とくらのさしきとんまがぶ。コレヤア 佐助 ね本の力の平  
 茶の田んが中子の銅はぶがとららぶとまらんるらんもや  
 あろぞいありート 船中 ぼくのいんまのさかりうらまろ。第  
 ぼくのまはてとんすう 四四年八月 ぼく  
 ぼくはよきこいんまとてまはあひし。ひまののさく入  
 小役まあやうとかのと。例のいんま 船てんまもあぶ  
 あくてもまらふとまらふとまのこ。ゆいんま。ちあひ  
 身をつけてかしのいんまの「あぶのいんま」せうたえく



世に... せく

海... せく

た... せく

あ... せく

福... せく

つ... せく

ね... せく

あ... せく

か... せく

ト... せく

わ... せく

い... せく

お... せく

ま... せく

さん... せく



















しきあけ。静か  
ひきあけ。静か  
ひきあけ。静か

しきあけ。静か  
ひきあけ。静か  
ひきあけ。静か

しきあけ。静か  
ひきあけ。静か  
ひきあけ。静か

しきあけ。静か  
ひきあけ。静か  
ひきあけ。静か

しきあけ。静か  
ひきあけ。静か  
ひきあけ。静か

しきあけ。静か  
ひきあけ。静か  
ひきあけ。静か

しきあけ。静か  
ひきあけ。静か  
ひきあけ。静か

八幡山

橋  
はら

夏ハ  
あつて

新主人

名牆亭  
此



Horizontal line of text at the top of the illustration area.





たふちてゐる穴をのこすをききりしやう  
ちかづいていそぐをうらひのぼるまき  
のぼるまき 又ちかづいて

長河の分海河をゆるい岩をへりてあねも人

知の初瀬のまきだよこしつづき舟のあぶらうあそび

よまひてまきふきまきまきまきまきまきまきまき

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

福人のアふくとうまきまきまきまきまきまきまき

福人のアふくとうまきまきまきまきまきまきまき

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

徳所 折 頁

こまくあふいてふてまきまきまきまきまきまきまき

こまのいれしはのこまのいれしはのこまのいれしはの

里のうあふいせんりのいれしはのこまのいれしはの

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき







月が世にうらぐらぐはひの目あつらうと今日月がたふさく  
 まのあつらふ人の日と移入（移入）ちかづくとうとほかることごとく  
 とまらうと時（時）甲（甲）ゆい（ゆい）のしんじやア移入（移入）く（く）あ（あ）の茶（茶）  
 解（解）のり（のり）ま（ま）のり（のり）の（の）牛（牛）府（府）の（の）た（た）も（も）と（と）あ（あ）の（の）り（の）が（の）じ（の）し（の）  
 信（信）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）  
トと（と）ち（ち）の（の）ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）  
とと（と）ち（ち）の（の）ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）  
 あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）  
 ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）

月が世にうらぐらぐはひの目あつらうと今日月がたふさく  
 まのあつらふ人の日と移入（移入）ちかづくとうとほかることごとく  
 とまらうと時（時）甲（甲）ゆい（ゆい）のしんじやア移入（移入）く（く）あ（あ）の茶（茶）  
 解（解）のり（のり）ま（ま）のり（のり）の（の）牛（牛）府（府）の（の）た（た）も（も）と（と）あ（あ）の（の）り（の）が（の）じ（の）し（の）  
 信（信）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）  
トと（と）ち（ち）の（の）ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）  
とと（と）ち（ち）の（の）ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）  
 あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）  
 ま（ま）のり（のり）ゆい（ゆい）の（の）し（の）ま（ま）のり（のり）あ（あ）の（の）り（の）ま（ま）のり（のり）















大佛の時考まき 雲より入りてや  
 ちぬハたまなる 天と  
 かくよそと心の中ちまきやどしほきふのちいなる

道中膝栗毛六編 上編終

きのも

ちんべ

うまのり

白ゆけ

物と

あひ

あひ

